

アンケート調査用紙

※ 番号を○で囲ってください。

問 1 どの中学校区にお住まいですか。

- 1 桜井中学校区
- 2 桜井東中学校区
- 3 大三輪中学校区
- 4 桜井西中学校区

「桜井市小・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」の中で、学校の適正規模の目標を以下の通り設定しています。

学級数： 小・中学校の適正学級数は、12 学級から 18 学級を基本とします。

学級児童・生徒数： 各学級の児童・生徒数は、小学校 1 年生が 35 人以下、小学校 2 年生～6 年生及び中学生は 40 名以下を基本とします。

通学距離、通学時間： 小・中学生の通学は、概ね 1 時間以内の通学時間となるようにします。

問 2 子どもたちの生きる力を育むため、これからの学校教育環境として、必要と思われるものについて、考えに近いものを次のうちから3つ以内で選んでください。


- 1 子ども同士が刺激し合い、学力、体力を高め合うことができる。
- 2 集団の中で色々な役割分担を経験できる。
- 3 子どもたちが社会性や協調性を身に付ける機会がある。
- 4 クラブ活動が充実している。（種類、人数）
- 5 多様な学習形態の授業指導を受けることができる。
- 6 学校行事で一人ひとりが自主的に活躍できる場がある。
- 7 一人ひとりに目が行き届いた、きめ細やかな指導を受けることができる。
- 8 子ども同士で活発なコミュニケーションができる。
- 9 その他（ ）

問3 桜井市では、人権尊重の精神を培うことを基盤として、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもたちの育成を目指しています。そこで、学校教育の充実を図るために、優先して取り組むべきことについて、考えに近いものを次のうちから3つ以内で選んでください。

- 1 グローバル化に対応した外国語教育
- 2 コンピュータ等の情報手段の基本的な操作やプログラミング的思考(※1)等を身につける情報活用能力を育む教育
- 3 社会性、道徳性及び規範意識を育む心の教育
- 4 体力向上や健康保持増進を図る教育
- 5 職業観・勤労観を育むキャリア教育
- 6 多様な発達特性に応える特別支援教育
- 7 自然愛護や環境保全の意識・態度を育む教育
- 8 伝統・文化を尊重し郷土を愛する教育
- 9 その他()

(※1) プログラミング的思考：

児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力

《 裏面に続きます。》 

問4 将来、小学校でも少子化が進み、利用されなくなる教室の増加や集団教育が困難になる状況が想定され、統合の検討も必要になってきます。

そこで、将来の小学校のあり方に対する検討の方向性について、考えに近いものを次のうちから1つ選んでください。

- 1 近隣の小学校と統合する。
- 2 近隣の中学校と統合する。（小中一貫教育（※2））
- 3 その他（ ）

（※2）小中一貫教育：

義務教育9年間の一貫した系統性・連続性のある指導を行う教育

問5 今後、学校の適正規模・適正配置を検討するうえで、配慮すべきと思われる点はどのようなことだと考えますか。重要と思われるものを次のうちから2つ以内で選んでください。

- 1 適正な児童数、学級数を確保する。
- 2 児童の通学（距離・方法・時間）とその安全を配慮する。
- 3 小・中学校9年間を見通した一貫教育を推進する。
- 4 学校と地域のつながりや連携を推進する。
- 5 校舎の施設整備を推進する。
- 6 適正化による新しい教育体制に対応して、効果的な教職員配置を行う。
- 7 その他（ ）

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

アンケート結果につきましては、桜井市教育委員会ホームページを通じ公表すると共に、未来を担う子どもたちに、より良い環境の中で魅力ある教育を進めていくことに活かさせていただきます。